

特集

都市と農山漁村の「二地域居住」への提言 ～多様なライフスタイルを求めて～

これからの日本は、価値観が多様化する中で、さまざまな局面で国民の「選択肢」を多くしていくことが必要であると考えています。日本人の暮らし方、住まい方の幅を広げ、そのことと、農山漁村等における地域社会の再生・維持とが結びつくことが重要となります。その一つのアイデアとして、「二地域居住」を提言しています。

本特集では、「二地域居住」促進などの取組みについてご紹介します。



ラベンダー畑の手入れ作業(長野県大町市おしお市民農園)

座談会：二地域居住への提言

- 鬼頭 宏(上智大学経済学部教授)
- 小林日出夫(福島県泉崎村長)
- 高橋 公(NPO法人ふるさと回帰支援センター事務局長)
- 岩瀬 忠篤(司会：国土計画局計画官)

解説：「二地域居住」の意義とその戦略的支援策の構想 (国土計画局 総合計画課)

寄稿：ムラから「二地域居住」をみる

- 神崎 宣武(民俗学者/旅の文化研究所長)
- ：ライフスタイルの多様化と旅行業界の新たな役割
- 清水 慎一(株式会社ジェイティービー 常務取締役)

紹介：二地域居住に向けた魅力ある農村づくりに向けて (農林水産省 農村振興局 農村政策課)

- ：移住定住・二地域居住 都市と農村の交流
(北海道 上士幌町 企画課)
- ：都市とFIT地域の交流・二地域居住の促進に向けた取組み
(21世紀FIT構想推進協議会)
- ：新潟県中山間地域の「仕事おこし」による二地域居住・定住促進
(にいがた田舎暮らし推進協議会)
- ：長野県飯山市の取組み
(長野県 飯山市 商工観光課)
- ：新ふるさと創り～都市と地方との交流～
(和歌山県 農林水産部 新ふるさと推進課)
- ：NPO法人 高知県ふるさと回帰支援センター 現状と今後の取組み
松本 信博(NPO法人 高知県ふるさと回帰支援センター 事務局長)